

第 11 回日本ワクチン学会学術集会 日程表

第1日目 12月8日(土)	
8:30	受付開始
8:50	開会の挨拶 会場: 501
9:00-12:00	一般演題 A: 麻疹・風疹 (A1-A15) 会場: 501
9:00-11:36	一般演題 B: インフルエンザ (B1-B13) 会場: 小ホール
12:10-13:10	ランチョンセミナー (ワイス株式会社) 会場: 501 座長: 神谷 齊 (国立病院機構三重病院) 演者: Prof. Ulrich Heininger (University Children s Hospital, Basel)
13:20-13:50	総会 会場: 501
13:50-14:10	高橋賞受賞講演 「粘膜免疫学の創成と粘膜ワクチン開発への理論形成」 会場: 501 座長: 倉田 毅 (富山県衛生研究所) 演者: 清野 宏 (東京大学医科学研究所)
	休憩
14:20-15:20	特別講演 「C型肝炎ウイルスに対するワクチン開発」 会場: 501 座長: 宮村 達男 (国立感染症研究所) 演者: 脇田 隆宇 (国立感染症研究所)
	休憩
15:30-18:15	パネルディスカッション 会場: 501 「ワクチンの抱える諸問題 (2)」 座長: 山西 弘一 (医薬基盤研究所) 倉田 毅 (富山県衛生研究所)
18:30	懇親会 会場: ラウンジ (3階)

第2日目 12月9日(日)	
8:00	受付開始
8:30-12:06	一般演題 C: 狂犬病 (C1-C5) D: 細菌 (D1-D13) 会場: 501
8:30-12:06	一般演題 F: 日本脳炎 (F1-F6) G: 新規ワクチン等 (G1-G12) 会場: 小ホール
12:20-13:20	ランチョンセミナー (グラクソ・スミスクライン株式会社) 会場: 501 座長: 砂川 慶介 (北里大学) 演者: Dr. Mohan S. Ravuru (GSK Biologicals)
13:30-15:06	一般演題 E: 水痘・ムンプス (E1-E5) G: 新規ワクチン等 (G21-G23) 会場: 501
13:30-15:06	一般演題 G: 新規ワクチン等 (G13-G20) 会場: 小ホール
	休憩
15:15-17:15	シンポジウム 会場: 501 「2012年: 麻疹・風疹の排除を目指して / 麻疹および風疹ワクチン発売30周年」 座長: 奥野 良信 (阪大微生物病研究会) 宮崎 千明 (福岡市立西部療育センター)
17:15	第 12 回日本ワクチン学会学術集会 会長挨拶 会場: 501 閉会の挨拶

高橋賞受賞講演

12月8日(土) 13:50 ~ 14:10 会場 501

座長: 倉田 毅 (富山県衛生研究所)

「粘膜免疫学の創成と粘膜ワクチン開発への理論形成」

演者: 清野 宏 (東京大学医科学研究所)

特別講演

12月8日(土) 14:20 ~ 15:20 会場 501

座長: 宮村 達男 (国立感染症研究所)

「C型肝炎ウイルスに対するワクチン開発」

演者: 脇田 隆字 (国立感染症研究所)

パネルディスカッション

12月8日(土) 15:30 ~ 18:15 会場 501

「ワクチンの抱える諸問題 (2)」

座長: 山西 弘一 (医薬基盤研究所) 倉田 毅 (富山県衛生研究所)

1. 百日咳:DTaP(Tdap)ワクチンと日本の問題点 岡田 賢司(国立病院機構福岡病院)
2. 何故、日本のワクチンは立ち遅れてきたのか? 中山 哲夫(北里大学北里生命科学研究所)
3. 予防接種とワクチンの評価 堀内 善信(国立感染症研究所)
4. ワクチンの審査について 田中 克平(医薬品医療機器総合機構)

シンポジウム

12月9日(日) 15:15 ~ 17:15 会場 501

「2012年：麻疹・風疹の排除を目指して /

麻疹および風疹ワクチン発売30周年」

座長：奥野 良信（阪大微生物病研究会）宮崎 千明（福岡市立西部療育センター）

1. 麻疹ワクチンの開発と今 上田 重晴（阪大微生物病研究会）
2. 風疹ワクチンの開発と今 植田 浩司（西南女学院大学）
3. 世界の麻疹・風疹流行状況と対策 谷口 清州（国立感染症研究所）
4. 麻疹・風疹・CRS の診断と免疫 中山 哲夫（北里大学北里生命科学研究所）
5. MR ワクチン2回接種と今後の麻疹・風疹流行時の対策
庵原 俊昭（国立病院機構三重病院）

ランチョンセミナー

12月8日(土) 12:10 ~ 13:10 会場 501

座長：神谷 齊（国立病院機構三重病院）

提供：ワイズ株式会社

「 Vaccination Schedule Development Experiences from Europe 」

Prof. Ulrich Heininger (University Children's Hospital, Basel)

ランチョンセミナー

12月9日(日) 12:20 ~ 13:20 会場 501

座長：砂川 慶介（北里大学大学院感染制御科学府）

提供：グラクソ・スミスクライン株式会社

「 A New Protein D Conjugate Vaccine Candidate for Polymicrobial Diseases – A Case Study 」

Dr. Mohan S. Ravuru (Worldwide Medical Product Support, GSK Biologicals)

一般演題プログラム

第 1 日目 平成 19 年 12 月 8 日(土)

【会場:501】

9:00 - 9:48

A.麻疹・風疹 - 1

【会場:501】

座長: 庵原俊昭(国立病院機構三重病院) 沼崎 啓(国立感染症研究所)

- A-1 わが国における麻疹及び風疹に対する抗体保有状況(2006年度感染症流行予測調査より)
佐藤 弘¹⁾、多屋馨子¹⁾、駒瀬勝啓²⁾、田代真人²⁾、岡部信彦¹⁾、
感染症流行予測調査事業担当者グループ³⁾
¹⁾ 国立感染症研究所感染症情報センター、²⁾ 国立感染症研究所ウイルス第三部、³⁾ 担当都道府
県ならびに都道府県衛生研究所
- A-2 麻しん及び風しんの定期予防接種の接種体制に関する全国自治体へのアンケート調
査報告
藤岡雅司、永井崇雄、落合 仁、崎山 弘、田原卓浩、寺田喜平、宮崎千明、横田俊一郎、
吉川哲史
日本外来小児科学会予防接種委員会
- A-3 2006年度第2期麻しん・風しんワクチン接種に関する全国調査 最終評価
上野久美、多屋馨子、岡部信彦
国立感染症研究所感染症情報センター
- A-4 麻疹・風疹の全数把握に対する全国自治体のとりくみの現状について
落合 仁、永井崇雄、藤岡雅司、田原卓治、寺田喜平、宮崎千明、横田俊一郎、吉川哲史
日本外来小児科学会予防接種委員会

9:48 - 10:36

A.麻疹・風疹 - 2

【会場:501】

座長: 吉川哲史(藤田保健衛生大学) 駒瀬勝啓(国立感染症研究所)

- A-5 麻疹既往歴を有する小児に対するMRワクチン追加接種 - 抗体反応と臨床反応 -
熊谷卓司¹⁾、中山哲夫²⁾、神谷 齊³⁾、庵原俊昭³⁾
¹⁾ くまがい小児科、²⁾ 北里生命科学研究所、³⁾ 国立病院機構三重病院小児科
- A-6 MRワクチン接種後にネフローゼ症候群を発症した一例
松島崇浩、岩田 敏、松原啓太
国立病院機構東京医療センター小児科

- A-7 2006 - 07 年に分離された麻疹ウイルスの性状
長井 誠¹⁾、藤野元子²⁾、吉川哲史³⁾、庵原俊昭⁴⁾、浅野喜造³⁾、中山哲夫⁵⁾
¹⁾ 東京医科大学・小児科、²⁾ 東京都済生会中央病院・小児科、³⁾ 藤田保健衛生大学・小児科、
⁴⁾ 国立病院機構三重病院・小児科、⁵⁾ 北里生命科学研究所・ウイルス感染制御
- A-8 風しんワクチン株の全塩基配列の決定とワクチン品質管理への応用
大槻紀之、田代真人、駒瀬勝啓
国立感染症研究所ウイルス第3部第2室

10:36 - 11:12	A. 麻疹・風疹 - 3	[会場: 501]
座長: 寺田喜平(川崎医科大学) 砂川富正(国立感染症研究所)		

- A-9 各県小児科医会のトラベルワクチンへの取り組み
庵原俊昭、中野貴司、神谷 齊
国立病院機構三重病院小児科
- A-10 小児科医および3歳児保護者のロタウイルスワクチンに対する意識: 北九州市における
質問紙調査
横尾美智代¹⁾、宮城由美子²⁾、中込とよ子¹⁾、中込 治¹⁾
¹⁾ 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科感染免疫学講座分子疫学分野、
²⁾ 福岡県立大学看護学部女性・小児看護学講座
- A-11 麻疹の Elimination をめざしてー接種率を高く維持するには未接種児の全数把握を
岡藤輝夫
岡藤小児科医院

11:12 - 12:00	A. 麻疹・風疹 - 4	[会場: 501]
座長: 中野貴司(国立病院機構三重病院) 多屋馨子(国立感染症研究所)		

- A-12 入園・入学時における調査と接種証明書による勧奨 - 倉敷市における麻疹・風疹対策 -
寺田喜平
川崎医科大学小児科第1講座
- A-13 麻しんの流行と地域での対応(地区医師会活動と学校医活動を中心として)
山田正興¹⁾、三輪操子²⁾、宮地三千代³⁾
¹⁾ 山田医院、²⁾ 三輪小児科医院、³⁾ 宮地内科医院
- A-14 全国一般31大学の入学時における既往歴および接種歴調査 - 麻疹と風疹対策 -
寺田喜平
川崎医科大学小児科第1講座
- A-15 MR ワクチン2期接種率向上対策とその成果
落合 仁¹⁾、庵原俊昭²⁾、神谷 齊²⁾
¹⁾ 落合小児科医院、²⁾ 国立病院機構三重病院小児科

【会場:小ホール】

9:00 - 9:48

B. インフルエンザ - 1

【会場:小ホール】

座長: 菅谷憲夫(けいゆう病院) 板村繁之(国立感染症研究所)

- B-1 経鼻インフルエンザワクチン開発研究におけるモデルマウスの役割
田村慎一、長谷川秀樹、佐多徹太郎、倉田 毅
国立感染症研究所感染病理部
- B-2 インフルエンザA型ウイルス感染およびワクチン接種における Toll like receptor (TLR) および RIG like receptor (RLR) シグナルの役割
小山正平^{1,3)}、石井 健^{1,2)}、審良静男¹⁾
¹⁾ 大阪大学微生物病研究所自然免疫学分野 ERATO プロジェクト、
²⁾ 大阪大学微生物病研究所分子原虫学分野、³⁾ 東北大学加齢医学研究所呼吸器腫瘍分野
- B-3 2005/2006 シーズナルインフルエンザワクチンの経鼻接種による高病原性鳥インフルエンザウイルス(H5N1)感染の交叉防御効果の検討
長谷川秀樹¹⁾、一戸猛志^{1,3)}、田村慎一¹⁾、板村繁之²⁾、小田切孝人²⁾、田代真人²⁾、佐多徹太郎¹⁾、倉田 毅¹⁾
¹⁾ 国立感染症研究所感染病理部、²⁾ 国立感染症研究所ウイルス第三部、
³⁾ 日本学術振興会特別研究員 DC2
- B-4 pFL および CpG を用いた経鼻インフルエンザワクチンの交叉防御能の検討
浅沼秀樹^{1,2,3)}、鈴木雄次郎⁴⁾、田村慎一²⁾、倉田 毅^{2,5)}、佐多徹太郎²⁾、藤橋浩太郎³⁾
¹⁾ 東海大・工、²⁾ 感染研・病理、³⁾ アラバマ大・ワクチンセンター、
⁴⁾ 北里研究所・生物製剤研、⁵⁾ 富山衛生研

9:48 - 10:48

B. インフルエンザ - 2

【会場:小ホール】

座長: 城野洋一郎(化学及血清療法研究所) 小田切孝人(国立感染症研究所)

- B-5 IL-4 変異体を用いたヘルパーT細胞(Th)反応調節によるインフルエンザウイルス感染の制御
松原明弘、唐松克夫、保富康宏
三重大学大学院医学系研究科生命医科学専攻病態解明医学講座、
(独)医薬基盤研究所霊長類医科学研究センター
- B-6 経鼻不活化全粒子インフルエンザワクチンに適したウイルス株の検索
萩原由加利¹⁾、鈴木雄次郎¹⁾、五反田 亨¹⁾、荒井節夫¹⁾、田村慎一²⁾、倉田 毅²⁾
¹⁾ 北里研究所生物製剤研究所、²⁾ 国立感染症研究所感染病理部
- B-7 経鼻インフルエンザワクチンのモデル実験動物、ミニブタを用いたアジュバント効果の検討
西野真紀、水野 大、武井恒知、品原和加子、福田明穂、木本貴士、木戸 博
徳島大学疾患酵素学研究センター・応用酵素・疾患代謝部門

- B-8 老齡期のインフルエンザワクチン接種後の抗体産生に及ぼすアミノ酸(シスチン/テアニン)の効果 - マウスを用いた検討 -
高木康博^{1,2)}、加瀬哲男¹⁾、前田章子³⁾
1)大阪府立公衆衛生研究所、2)大阪大学大学院医学系研究科実験動物医学、
3)大阪市立大学大学院医学研究科公衆衛生学
- B-9 マウスにおけるプレパンデミックワクチンによるプライミング効果の検討
池野大介¹⁾、来海和彦¹⁾、工藤康博¹⁾、後藤修郎¹⁾、板村繁之²⁾、小田切孝人²⁾、
田代真人²⁾、城野洋一郎¹⁾
1) (財)化学及血清療法研究所、2) 国立感染症研究所

10:48 - 11:36 B. インフルエンザ - 3

【会場:小ホール】

座長: 田代真人(国立感染症研究所) 廣田良夫(大阪市立大学)

- B-10 抗ノイラミニダーゼ抗体によるインフルエンザ感染防御能
前田章子、廣田良夫
大阪市立大学大学院医学研究科公衆衛生学
- B-11 乳幼児におけるインフルエンザワクチンの免疫原性について
入江 伸¹⁾、大藤さとこ²⁾、伊藤一弥^{2,3)}、石橋元規¹⁾、高見沢昭久⁴⁾、合田英雄⁴⁾、
高崎好生⁵⁾、進藤静生⁶⁾、横山 隆⁷⁾、山下祐二⁸⁾、芝尾京子⁹⁾、前田章子²⁾、廣田良夫²⁾
1)医療法人相生会九州臨床薬理クリニック、2)大阪市立大学大学院医学研究科公衆衛生学、
3)株式会社メディサイエンスプランニング、4)財団法人阪大微生物病研究会、
5)高崎小児科医院、6)しんどう小児科医院、7)医療法人横山小児科医院、
8)やました小児科医院、9)しばおクリニック
- B-12 抗インフルエンザ HI 抗体価測定上の問題点 - A/広島/52/2005(H3N2)株抗原のイン
ヒビター感受性に関する検討 -
前田章子¹⁾、加瀬哲男²⁾、大藤さとこ¹⁾、伊藤一弥^{1,3)}、入江 伸⁴⁾、菅野恒治⁵⁾、
廣田良夫¹⁾
1)大阪市立大学大学院医学研究科公衆衛生学、2)大阪府立公衆衛生研究所感染症部、
3)(株)メディサイエンスプランニングDM・統計解析部、4)(医)相生会九州臨床薬理クリニック、
5)菅野小児科医院
- B-13 網羅的遺伝子発現解析によるパンデミックインフルエンザワクチン(H5N1)の安全性・有
効性評価法開発の試み
水上拓郎¹⁾、今井順一²⁾、浜口 功¹⁾、河村未佳²⁾、百瀬暖佳¹⁾、内藤誠之郎¹⁾、
前山順一¹⁾、益見厚子¹⁾、倉光 球¹⁾、滝沢和也¹⁾、野村信夫³⁾、渡辺慎哉²⁾、
山口一成¹⁾
1)国立感染症研究所血液・安全性研究部、2)東京医科歯科大学大学院、
3)産総研・生物情報解析センター

第2日目 平成19年12月9日(日)

【会場:501】

8:30 - 9:30

C. 狂犬病

【会場:501】

座長: 高山直秀(東京都立駒込病院) 井上 智(国立感染症研究所)

C-1 当院ワクチン外来受診者に関する輸入狂犬病発生の影響

高山直秀¹⁾、菅沼明彦²⁾、柳澤如樹²⁾

¹⁾ 東京都立駒込病院小児科、²⁾ 東京都立駒込病院感染症科

C-2 狂犬病ワクチンの曝露前接種と曝露後接種について

宮津光伸

名鉄病院予防接種センター

C-3 ヒトへの皮内接種法による狂犬病曝露前免疫の検討

柳澤如樹¹⁾、高山直秀²⁾、菅沼明彦¹⁾

¹⁾ 東京都立駒込病院感染症科、²⁾ 東京都立駒込病院小児科

C-4 日本製狂犬病ワクチンの皮内接種法の検討

塩田星児、Khawplod P、後藤和代、伊波英克、Ahmed Kamruddin、三舟求真、西園 晃
大分大学医学部感染分子病態制御講座(微生物学)

C-5 DNA免疫を利用した簡便で特異性の高い抗狂犬病免疫グロブリン産生モデル実験系の検討

井上 智、ホルトバ・ターバザ・ツルソ、堀田こずえ、野口 章、加来義浩、奥谷晶子、山田章雄
国立感染症研究所獣医科学部

9:30 - 10:06

D. 細菌 - 1

【会場:501】

座長: 岡田賢司(国立病院機構福岡病院) 高橋元秀(国立感染症研究所)

D-1 小児百日咳のDPTワクチン接種歴と臨床像

牛田 肇¹⁾、西村直子¹⁾、鈴木道雄¹⁾、成田 敦¹⁾、渡邊直子¹⁾、安 在根¹⁾、小山慎郎¹⁾、
安田直子²⁾、中根一匡²⁾、舟橋恵二²⁾、尾崎隆男¹⁾

¹⁾ 愛知県厚生連昭和病院小児科、²⁾ 同・臨床検査技術科

D-2 成人層から分離された百日咳菌の分子疫学的解析

蒲地一成¹⁾、岡田賢司²⁾、豊泉裕美¹⁾、佐々木裕子¹⁾、荒川宜親¹⁾

¹⁾ 国立感染症研究所細菌第二部、²⁾ 国立病院機構福岡病院小児科

D-3 遺伝子発現解析(QuantiGene Plex)法を用いたワクチンの新しい安全性評価法確立の試み

浜口 功¹⁾、今井順一²⁾、百瀬暖佳¹⁾、河村未佳²⁾、水上拓郎¹⁾、内藤誠之郎¹⁾、

前山順一¹⁾、加藤博史¹⁾、益見厚子¹⁾、倉光 球¹⁾、滝沢和也¹⁾、水谷哲也¹⁾、落合雅樹¹⁾、
山本明彦¹⁾、堀内善信¹⁾、野村信夫³⁾、渡辺慎哉²⁾、山口一成¹⁾

¹⁾ 国立感染症研究所、²⁾ 東京医科歯科大学大学院、³⁾ 産総研・生物情報解析センター

10:06 - 11:06 D.細菌 - 2

[会場:501]

座長: 尾崎隆男(愛知県厚生連昭和病院) 小林和夫(国立感染症研究所)

- D-4 全国 BCG ワクチン累積接種率:2007 年度調査結果
高山直秀¹⁾、崎山 弘²⁾、岡部信彦³⁾
1) 東京都立駒込病院小児科、2) 崎山小児科、3) 国立感染症研究所感染症情報センター
- D-5 BCG 接種後に皮膚結核様病変を呈した 2 乳児例
西村直子¹⁾、成田 敦¹⁾、鈴木道雄¹⁾、安 在根¹⁾、渡邊直子¹⁾、小山慎郎¹⁾、牛田 肇¹⁾、
安田直子²⁾、中根一匡²⁾、舟橋恵二²⁾、尾崎隆男¹⁾
1) 愛知県厚生連昭和病院小児科、2) 同・臨床検査技術科
- D-6 粟粒結核、空洞形成型結核および結核性髄膜炎に罹患した 3 ヶ月女児
渡邊直子¹⁾、西村直子¹⁾、鈴木道雄¹⁾、成田 敦¹⁾、安 在根¹⁾、小山慎郎¹⁾、牛田 肇¹⁾、
安田直子²⁾、中根一匡²⁾、舟橋恵二²⁾、尾崎隆男¹⁾
1) 愛知県厚生連昭和病院小児科、2) 同・臨床検査技術科
- D-7 BCG 製剤に含まれる 2 種類のバリエーション株のリアルタイム PCR による定量
柴山恵吾、荒川宜親、山本三郎
国立感染症研究所細菌第二部
- D-8 Recombinant modified vaccinia virus Ankara (MVA) expressing multivalent tuberculosis antigens along with IL-15 induces specific IFN- γ responses in the lung following nasal immunization.
Fumiki Momoi¹⁾, Tomomi Hashizume¹⁾, Tomoko Kurita-Ochiai¹⁾, Hiroshi Kiyono²⁾,
Liyanage P. Perera³⁾, Masafumi Yamamoto¹⁾
1) Dept. Microbiol. Immunol., Nihon Univ. Sch. Dent. at Matsudo, Chiba,
2) Div. Mucosal Immunol., Inst. Med. Sci., Univ. Tokyo, Tokyo, Japan,
3) Ctr. Cancer Res., Natl. Cancer Inst., MD, USA

11:06 - 12:06 D.細菌 - 3

[会場:501]

座長: 荒川宜親(国立感染症研究所) 大石和徳(大阪大学微生物病研究所)

- D-9 Heparin-binding hemagglutinin (HBHA) を用いた抗結核粘膜ワクチンの構築
小濱秀泰、梅村正幸、矢作綾野、岡本祐子、原国哲也、呉我春学、新川 武、松崎吾朗
琉球大学遺伝子実験センター分子感染防御分野
- D-10 ラットを用いたヘモフィルス b 型ワクチン(破傷風トキソイド結合体)の免疫原性試験
新谷三春、佐々木裕子、加藤はる、佐々木次雄、荒川宜親
国立感染症研究所細菌第二部
- D-11 歯周病細菌タンパク抗原を発現する乳酸菌による特異的抗体応答の誘導
田中宏征^{1,2)}、橋爪智美²⁾、安孫子宜光³⁾、瀬脇智満⁴⁾、野崎周英⁵⁾、深津 晶¹⁾、
牧村正治¹⁾、落合智子²⁾、山本正文²⁾
1) 日本大学松戸歯学部歯科臨床検査医学、2) 感染・免疫学、3) 生化学・分子生物学、
4) ジェノラック BL、5) 化血研

D-12 サルモネラワクチンの開発に関する基礎的研究

天野富美夫

大阪薬科大学薬学部生体防御学研究室

D-13 慢性肺疾患患者における急性増悪に対する肺炎球菌ワクチンとインフルエンザワクチンの相加的効果

古本朗嗣¹⁾、大日康史²⁾、大石和徳³⁾

¹⁾長崎大学熱帯医学研究所、²⁾国立感染症研究所、³⁾大阪大学微生物病研究所

13:30 - 14:30 E. 水痘・ムンプス

【会場:501】

座長: 森 康子(医薬基盤研究所) 加藤 篤(国立感染症研究所)

E-1 個室管理中の患者に発生した限局性帯状疱疹が感染源と疑われる水痘の再感染症例: 病棟内感染予防対策に再考が必要か?

森内浩幸

長崎大学医学部・歯学部附属病院小児科

E-2 水痘ワクチン接種者の PBMC 中の水痘ワクチン DNA 検出および解析

五味康行¹⁾、尾崎隆男²⁾、成田 敦²⁾、鈴木道雄²⁾、安 在根²⁾、渡邊直子²⁾、小山慎郎²⁾、牛田 肇²⁾、西村直子²⁾、安田直子³⁾、中根一匡³⁾、舟橋恵二³⁾、福家 功¹⁾、石川豊数¹⁾、高橋理明¹⁾

¹⁾財団法人阪大微生物病研究会、²⁾愛知県厚生連昭和病院小児科、

³⁾愛知県厚生連昭和病院臨床検査技術科

E-3 水痘予防接種に対する公費補助制度の政策評価

大日康史¹⁾、菅原民枝¹⁾、島内泰宏²⁾、尾崎貴視³⁾、谷口泰紀⁴⁾、三野正博⁵⁾、香川嘉宏⁶⁾

¹⁾国立感染症研究所、²⁾三豊総合病院、³⁾医療法人社団逍遥会おざきこどもクリニック、

⁴⁾医療法人社団谷口小児科医院、⁵⁾医療法人社団三野小児科医院(三豊・観音寺市医師会理事)、

⁶⁾三豊・観音寺市医師会代表

E-4 Construction of a recombinant varicella vaccine expressing a mumps virus hemagglutinin-neuraminidase and fusion glycoproteins.

Pranee Somboonthum¹⁾, Hironori Yoshii^{1,2)}, Shigefumi Okamoto¹⁾, Yasuyuki Gomi²⁾, Michiaki Takahashi³⁾, Koichi Yamanishi¹⁾ and Yasuko Mori¹⁾

¹⁾Laboratory of Virology and Vaccinology, National Institute of Biomedical Innovation,

²⁾Kanonji Institute, the Research Foundation for Microbial Diseases of Osaka University,

³⁾The Research Foundation for Microbial Diseases of Osaka University

E-5 ムンプスが流行した保育園におけるムンプス抗体価調査報告

橋本裕美

橋本こどもクリニック

14:30 - 15:06 G. 新規ワクチン等 - 6

【会場:501】

座長: 佐多徹太郎(国立感染症研究所) 森川 茂(国立感染症研究所)

G-21 ワクチンの臨床評価の指針に関するレビュー

松尾富士男

財団法人化学及血清療法研究所

G-22 高度弱毒化天然痘ワクチン LC16m8 の暴露後使用時の天然痘予防効果: 霊長類におけるサル痘モデルによる検討

西條政幸¹⁾、網 康至²⁾、永田典代³⁾、長谷川秀樹³⁾、福士秀悦¹⁾、水谷哲也¹⁾、飯塚愛恵¹⁾、佐多徹太郎³⁾、倉田 毅³⁾、倉根一郎¹⁾、森川 茂¹⁾

¹⁾ 国立感染症研究所ウイルス第1部、²⁾ 同・実験動物管理室、³⁾ 同・感染病理部

G-23 バイオテロ対抗薬としての痘そうワクチン LC16m8 に関する研究

横手公幸¹⁾、新村靖彦¹⁾、佐藤 梓¹⁾、永井千草¹⁾、松井 元¹⁾、佐々木 巧¹⁾、志垣隆通¹⁾、寺野 剛¹⁾、大隈邦夫¹⁾、岡 徹也¹⁾、橋爪 壯²⁾

¹⁾ (財)化学及血清療法研究所、²⁾ 千葉大学

【会場:小ホール】

8:30 - 9:06 F. 日本脳炎・ウエストナイル - 1

【会場:小ホール】

座長: 岡部信彦(国立感染症研究所) 森田公一(長崎大学)

F-1 組織培養法による新しい日本脳炎ワクチン接種後の局所反応 - マウスを用いた病理組織学的検討

立山悟志¹⁾、中村幸嗣¹⁾、鶴岡純一郎¹⁾、勝田友博¹⁾、本庄綾子¹⁾、長岡千春¹⁾、徳竹忠臣¹⁾、有本 寛¹⁾、中島夏樹¹⁾、五島敏郎¹⁾、加藤達夫²⁾

¹⁾ 聖マリアンナ医科大学小児科学教室、²⁾ 国立成育医療センター

F-2 同一児童における日本脳炎ワクチン第 1 期定期予防接種後の中和抗体の推移

岡田賢司¹⁾、阿部元治²⁾、松尾富士男²⁾、塩先巧一²⁾、宮崎千明³⁾、植田浩司⁴⁾、城野洋一郎²⁾

¹⁾ 国立病院機構福岡病院、²⁾ (財)化学及血清療法研究所、³⁾ 福岡市西部療育センター、⁴⁾ 西南女学院大学

F-3 麻疹ウイルスベクターを用いた新規日本脳炎ワクチンの開発

樋口 彰¹⁾、小宮智義²⁾、駒瀬勝啓³⁾、中山哲夫¹⁾

¹⁾ 北里大学・北里生命科学研究所、²⁾ 北里研究所・生物製剤研究所・開発研究部、³⁾ 国立感染症研究所・ウイルス第三部第二室

9:06 - 9:42

F. 日本脳炎・ウエストナイル - 2

【会場:小ホール】

座長: 小西英二(神戸大学) 高崎智彦(国立感染症研究所)

- F-4 ポリ- γ -グルタミン酸ナノ粒子の日本脳炎ワクチンアジュバントとしての可能性
岡本成史¹⁾、吉井洋紀^{1,2)}、小島朝人³⁾、石川豊数²⁾、明石 満^{4,5)}、高橋理明⁶⁾、
山西弘一⁷⁾、森 康子¹⁾
¹⁾ 医薬基盤研・感染制御、²⁾(財)阪大微研観音寺研究所、³⁾ 国立感染研・感染病理、
⁴⁾ 阪大・院工・応用化学、⁵⁾ CREST, JST、⁶⁾(財)阪大微研、⁷⁾ 医薬基盤研
- F-5 ウエストナイルウイルス感染を防御する中和抗体価
村木優子¹⁾、松浦正明¹⁾、福家 功¹⁾、真鍋貞夫¹⁾、石川豊数¹⁾、奥野良信¹⁾、森田公一²⁾
¹⁾(財)阪大微生物病研究会観音寺研究所、²⁾長崎大学熱帯医学研究所分子構造解析分野
- F-6 ウエストナイルウイルスサブユニットワクチンの開発
大滝尚広¹⁾、高橋秀宗¹⁾、田中恵子¹⁾、石川豊数²⁾、東 雍²⁾、佐多徹太郎¹⁾、
小島朝人¹⁾
¹⁾ 国立感染症研究所感染病理部、²⁾ 財団法人阪大微生物病研究会

9:42 - 10:30

G. 新規ワクチン等 - 1

【会場:小ホール】

座長: 倉根一郎(国立感染症研究所) 幸 義和(東京大学医科学研究所)

- G-1 コールドチェーンフリー - 経口ワクチンの開発 -
幸 義和、野地智法、清野 宏
東京大学医科学研究所、CREST (JST)
- G-2 ワクチン開発に向けた脂質メディエーターによるT細胞依存性的および非依存性的抗原に
対する分泌型IgAならびに血清IgG誘導制御機構の解明
合田昌史、清野 宏
東京大学医科学研究所・感染免疫部門・炎症免疫学分野
- G-3 親水性ゲルパッチを用いた「貼るワクチン」の開発と経皮免疫造成機構の解明
石井裕美子¹⁾、岡田直貴^{1,2)}、松尾圭祐¹⁾、松尾一彦¹⁾、権 英淑^{2,3)}、神山文男³⁾、
藤田卓也^{2,4)}、中川晋作¹⁾
¹⁾ 阪大院薬、²⁾ 京都薬大、³⁾ コスメディ製薬、⁴⁾ 立命館大情理工
- G-4 経皮ワクチンに関する研究 - 抗原の皮膚送達促進による免疫効果の増強とインフルエンザHAワクチンへの応用 -
内藤誠之郎¹⁾、前山順一¹⁾、水上拓郎¹⁾、長谷川秀樹²⁾、浜口 功¹⁾、山口一成¹⁾
¹⁾ 国立感染症研究所・血液・安全性研究部、²⁾ 同 感染病理部

10:30 - 11:18 G. 新規ワクチン等 - 2

【会場:小ホール】

座長: 滝澤剛則(富山県衛生研究所) 長谷川秀樹(国立感染症研究所)

- G-5 鼻粘膜における Phosphorylcholine 特異的免疫誘導と B1 細胞
田中紀充¹⁾、黒野祐一¹⁾、清野 宏²⁾
¹⁾ 鹿児島大学大学院医歯学総合研究科・先進治療科学専攻・感覚器病学聴覚頭頸部疾患学、
²⁾ 東京大学医科学研究所炎症免疫分野
- G-6 M細胞標的型粘膜ワクチンによる効果的な粘膜感染症防御免疫の誘導
野地智法、幸 義和、清野 宏
東京大学医科学研究所炎症免疫学分野、CREST・JST
- G-7 OPV 初回投与後の糞便中から検出されたポリオウイルス2型株にみられたゲノム変異
荒木和子、多屋馨子、岡部信彦
国立感染症研究所感染症情報センター
- G-8 Sabin 株由来不活化ポリオワクチンの経粘膜ワクチンへの応用の可能性
永田典代¹⁾、清水博之²⁾、安部 忍³⁾、長谷川秀樹¹⁾、佐多徹太郎¹⁾、倉田 毅¹⁾
¹⁾ 国立感染症研究所感染病理部、²⁾ 同ウイルス第二部、³⁾ (財)日本ポリオ研究所

11:18 - 12:06 G. 新規ワクチン等 - 3

【会場:小ホール】

座長: 田村慎一(国立感染症研究所) 石川豊数(阪大微生物病研究会)

- G-9 抗酸菌分泌抗原 Ag85B の新規アジュバントとしての可能性
唐松克夫^{1,2)}、清水佑也²⁾、松原明弘^{1,2)}、石川豊数³⁾、保富康宏^{1,2)}
¹⁾ 三重大学大学院医学系研究科病態解明医学講座生体防御分野、
²⁾ (独)医薬基盤研究所霊長類医科学研究センター、³⁾ (財)阪大微生物病研究会
- G-10 新規 A 型 CpG-DNA である G9.1 の粘膜アジュバント作用
前山順一¹⁾、後藤紀久²⁾、山本三郎³⁾
¹⁾ 国立感染研・血液・安全性研究部、²⁾ 総合機構、³⁾ テキサス A&M 大学
- G-11 キトサン関連物質の粘膜免疫アジュバント活性
小林 丘^{1,2)}、山下裕介¹⁾、鈴木雅也^{1,3)}、山南隆徳²⁾、山本直樹¹⁾、石川晃一¹⁾
¹⁾ 国立感染研エイズ研究センター、²⁾ 大日精化工業(株)、³⁾ 現(株)三菱化学安科研
- G-12 粘膜免疫アジュバントを用いた抗 HIV 抗体産生能の検討
山下裕介¹⁾、小林 丘^{1,2)}、鈴木雅也^{1,3)}、山南隆徳²⁾、山本直樹¹⁾、石川晃一¹⁾
¹⁾ 国立感染研エイズ研究センター、²⁾ 大日精化工業(株)、³⁾ 現(株)三菱化学安科研

13:30 - 14:18 G. 新規ワクチン等 - 4

【会場:小ホール】

座長: 近藤一博(東京慈恵会医科大学) 西條政幸(国立感染症研究所)

- G-13 DNA ワクチン免疫原性誘導に必須な自然免疫認識シグナル経路
石井 健¹⁾、小山正平²⁾、松井孝介²⁾、植松 智²⁾、竹内 理²⁾、武下文彦³⁾、
ジェヴァイアチョパン²⁾、審良静男²⁾
¹⁾大阪大学微生物病研究所難治感染症研究センター分子原虫学、
²⁾大阪大学微生物病研究所自然免疫学、³⁾横浜市立大学大学院医学研究科生体防御学
- G-14 細胞培養系により産生された C 型肝炎ウイルス(HCV)のワクチンとしての可能性検討
尾見法昭^{1,2)}、脇田隆字²⁾
¹⁾東レ(株)医薬研究所、²⁾国立感染症研究所
- G-15 高度弱毒化ワクチニアウイルス株 DIs の組換え SARS ワクチンとしての検討
石井孝司¹⁾、横田恭子²⁾、長谷川秀樹³⁾、永田典代³⁾、森川 茂⁴⁾、福士秀悦⁴⁾、
水谷哲也⁴⁾、鈴木哲朗¹⁾、田代真人⁵⁾、田口文広⁵⁾
¹⁾国立感染症研究所ウイルス第二部、²⁾免疫部、³⁾感染病理部、⁴⁾ウイルス第一部、
⁵⁾ウイルス第三部
- G-16 SARS-CoV 全構造タンパク質発現型 RVV 免疫マウスでの SARS-CoV 感染後に起きる
肺炎増悪の解析
安井文彦¹⁾、甲斐知恵子²⁾、北畠正大³⁾、井上真吾⁴⁾、米田美佐子²⁾、横地祥司⁵⁾、
加瀬良一¹⁾、森田公一⁴⁾、松島綱治⁵⁾、志田壽利⁶⁾、水野喬介⁷⁾、小原道法¹⁾
¹⁾都・臨床研・感染症、²⁾東大医科研・実験動物、³⁾熊本大院医薬・免疫学、
⁴⁾長崎大・熱帯研・分子構造解析、⁵⁾東大院・医系研・分子予防医学、
⁶⁾北大・遺伝研・病態、⁷⁾化学及血清療法研究所

14:18 - 15:06 G. 新規ワクチン等 - 5

【会場:小ホール】

座長: 小島朝人(国立感染症研究所) 白木公康(富山大学)

- G-17 抗ベクター抗体存在下におけるセンダイウイルスベクターエイズワクチンの CTL 誘導能
の解析
守谷智草¹⁾、堀場 聡¹⁾、井上 誠²⁾、飯田章博²⁾、朱 亜峰²⁾、長谷川 護²⁾、俣野哲朗¹⁾
¹⁾東京大学医科学研究所、²⁾ディナベック株式会社
- G-18 麻疹ウイルスワクチン株: H 蛋白 N481Y 変異の新たな意義
竹田 誠
九州大学大学院医学研究院ウイルス学
- G-19 A 型肝炎ワクチンの 2 回接種による抗体価の推移
清原知子、佐藤知子、米山徹夫、戸塚敦子、脇田隆字
国立感染症研究所ウイルス第二部
- G-20 ネコ用生ワクチンにおける内在性レトロウイルスの存在
宮沢孝幸、岡田雅也
京都大学ウイルス研究所・附属新興ウイルス感染症研究センター